

令和 6 年 度

事 業 報 告 書

公益財団法人 京都文化財団

処 務 の 概 要

1 評議員及び役員に関する事項

評 議 員 及 び 役 員 名 簿

令和7年3月31日現在

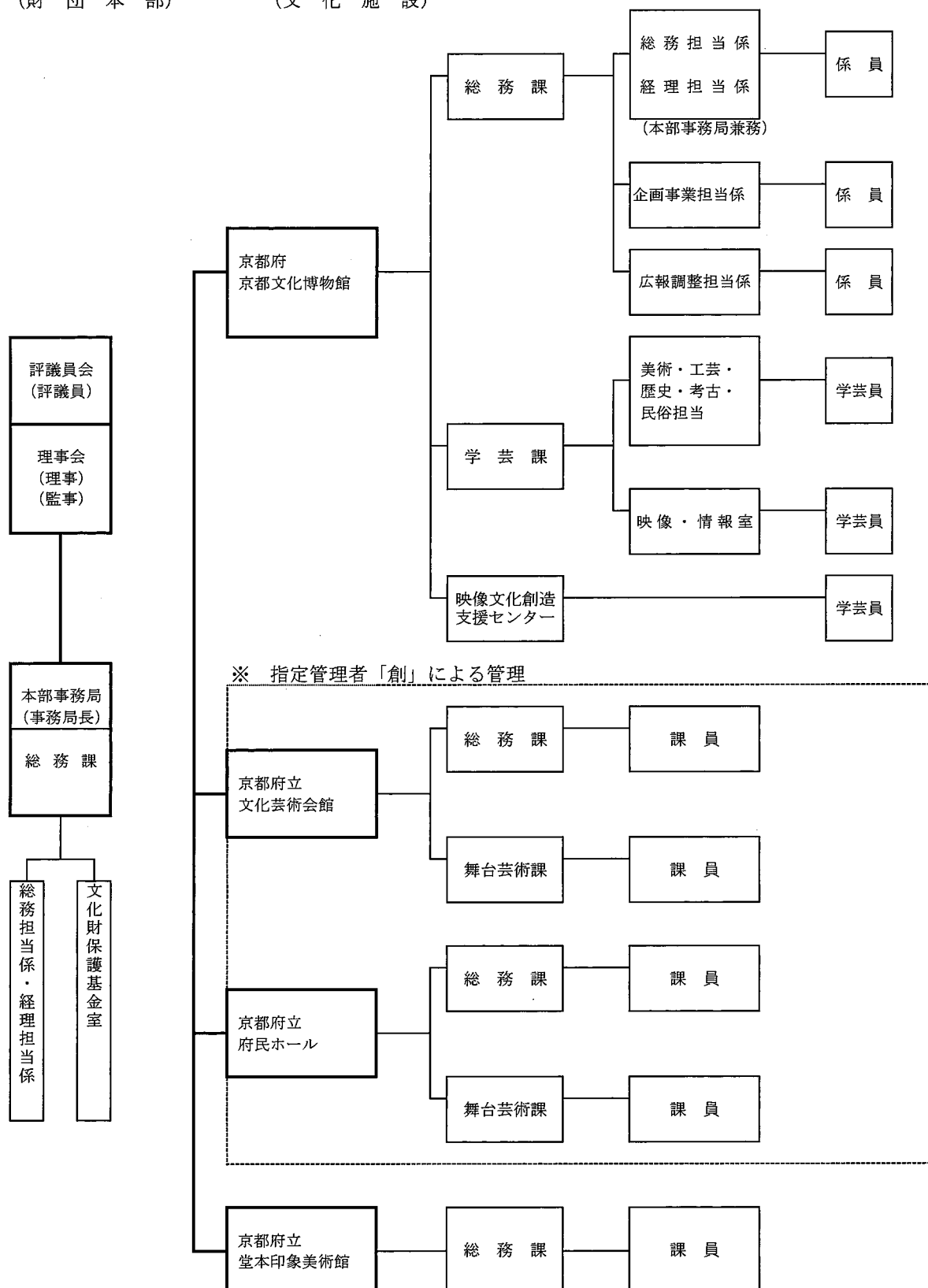
職 名		氏 名	摘 要	最初の就任年月日
顧 問		西 脇 隆 俊	京都府知事	平 30. 6. 5
〃		千 玄 室	前京都文化財団副理事長 前茶道裏千家家元	平 23. 6. 16
評 議 員		池 坊 雅 史	華道家元池坊総務所事務総長	令 元. 6. 27
〃		上 原 雅 明	学校法人小野幼稚園理事長・園長	令 元. 6. 27
〃		内 田 奈 織	ハープ奏者	令 5. 6. 20
〃		大 西 祐 資	京都新聞社代表取締役社長・主筆	令 4.11.23
〃		杭 迫 柏 樹	書家	平 27. 6. 23
〃		金 剛 永 謹	能楽金剛流宗家	平 23. 5. 17
〃		坂 口 博 翁	僧侶、一般財団法人京都仏教会常務理事	令 5.1.31
〃		佐々木正子	嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学学長、 学校法人大覚寺学園理事、教授	令 元. 6. 27
〃		佐野真由子	京都大学大学院教育学研究科教授	令 5. 6. 20
〃		潮 江 宏 三	美術評論家、京都市立芸術大学名誉教授	令 元. 6. 27
〃		田 中 恆 清	石清水八幡宮宮司	平 23. 5. 17
〃		中西たえ子	株式会社鼓月取締役会長	令 5. 6. 20
〃		中 村 宗 哲	千家十職塗師当代	令 5. 6. 20
〃		名 和 修	公益財団法人陽明文庫常務理事・文庫長	平 23. 5. 17
〃		野 崎 貴 典	古典の日推進委員会ゼネラルプロデューサー	令 5. 6. 20
〃		古 川 博 規	京都府副知事	令 2.10.26
〃		森 田 り え 子	日本画家、京都市立芸術大学客員教授	令 5. 6. 20
〃		山 極 壽 一	総合地球環境学研究所所長	令 3. 3. 31
〃		吉 岡 恵 美 子	京都精華大学芸術学部教授	令 5. 6. 20
〃		冷 泉 為 人	公益財団法人冷泉家時雨亭文庫理事長	平 23. 5. 17
役 員	理 事 長 (代表理事)	山 田 啓 二	京都文化博物館館長、前京都府知事	平 30. 6. 20
	常 務 理 事 (業務執行理事)	金 谷 宗 子	京都文化博物館副館長、京都文化財団事務局長	令 4.5.24
	理 事	植 村 幸 弘	京都中央信用金庫専務理事	令 4.6.28
	〃	奥 野 美 奈 子	株式会社京都銀行常務取締役	令 3.11.12
	〃	金 田 章 裕	京都府立京都学・歴史館長、京都府公立大学法人理事長	平 26. 6. 27
	〃	高 階 絵 里 加	京都大学大学院地球環境学堂教授 京都大学人文科学研究所教授	平 23. 3. 22
	〃	並 木 誠 士	京都工芸繊維大学特定教授・美術工芸資料館館長	平 24. 6. 26
	〃	深 尾 憲 一	弁護士	平 23. 3. 22
	〃	吉 田 忠 嗣	吉忠株式会社代表取締役社長	平 23. 3. 22
監 事		光 田 周 史	公認会計士、ひかり監査法人代表社員、 ひかり税理士法人代表社員	平 23. 3. 22
〃		中 村 健 児	一般社団法人京都銀行協会専務理事	平 29. 3. 23
(現 在 数)				
顧 問 2名 評議員20名 理 事 9名 監 事 2名				

2 組織に関する事項

令和7年3月31日現在

(財 団 本 部)

(文 化 施 設)



I 財団本部事務局

1 本部事務局

公益性が高く、かつガバナンスを強化した法人組織を確立するとともに、公益財団法人としての事業に取り組んだ。

財団本部では文化博物館を含む4つの文化施設の事業活動が、それぞれ設立趣旨に則して円滑に推進できるように努めるとともに、文化財保護基金による資金の貸付け及び文化財の保存と啓発に関する事業等の推進に努めた。

2 文化財保護基金の事業

(1) 文化財保護資金の貸付け

令和6年度の新規貸付はなかった。

① 貸付金の償還状況

(単位：千円)

貸付 年度	貸付 件数	貸付額	令和6年度償還額				償還済額 (元金)	未償還額 (元金)
			件数	元 金	利 子	計		
②⑥	3	19,400	1	1,747	21	1,768	17,653	0
②⑦	3	28,000	1	1,611	39	1,650	24,758	1,631
②⑧	4	41,000	4	4,685	148	4,833	28,661	7,653
②⑨	2	21,000	1	674	33	707	18,254	2,072
③⑩	2	22,000	1	1,666	102	1,768	13,468	6,866
①	0	0	0	0	0	0	0	0
②	3	14,000	2	1,713	66	1,779	5,924	6,364
③	2	20,000	2	12,318	70	12,388	4,314	3,368
④	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤	2	23,000	2	0	193	193	0	23,000
⑥	0	0	0	0	0	0	0	0
累計	21	188,400	14	24,414	672	25,086	113,032	50,954

(2) 文化財保護の啓発普及

① 啓発普及誌「文化財レポート」の発行

文化財の重要性を認識し、保護意識の高揚を図るための普及誌として「文化財レポート第38号」を発行(1,500部、令和7年3月)し、文化財保護の啓発に努めた。

② 文化財保護のよろず相談

指定・未指定を問わず文化財を所有されている京都府内の方を対象とした文化財保護のよろず相談窓口を文化博物館ホームページ上に引き続き開設した。

③ (公財) 古文化保存協会「小中学生記者の文化財取材コンクール」への協力(共催)

コンクール会場として京都文化博物館を提供したほか、学芸員の仕事の紹介、取材を通じて取材コンクールに協力した。また、11月26日には、同じく博物館でコンクール授賞式を開催し、当財団からも3名に賞を授与した。

取材コンクール：令和6年7月27日 参加者37名

(3) 文化財保護関係の関係機関及び諸団体との連携の強化

文化財保護関係機関で構成する京都文化財防災対策連絡会との連携により、事業の推進や啓発活動の強化に努めた。(年3回開催)

(4) 福寿園・お茶の文化賞事業

① 第3回福寿園・お茶の文化賞の授与

お茶の文化賞選考委員会（令和6年1月30日）による選考を経て、第3回お茶の文化賞を授与した。

授賞式：令和6年6月11日

大賞受賞者：吉田 利一（株式会社丸利 吉田銘茶園 園主）

本簾覆下製法・手もみ技術等の宇治茶の伝統的な生産技術の継承に努めるとともに、日本最古の茶園である「高山寺茶園」の管理保存を通して、お茶の文化の発展に大いに貢献している。

奨励賞受賞者：中山 圭子（株式会社虎屋 特別理事 虎屋文庫 主席研究員）

お茶の文化に欠かせない和菓子の研究普及に努める第一人者であり、意匠や歴史について執筆や講演等で活躍している。今後もお茶の魅力を引き出す食文化の発信が期待される。

② 第4回お茶の文化賞選考委員会

令和7年度受賞者を選定する選考委員会を開催した。（令和7年1月27日）

Ⅱ 京都府京都文化博物館

1 管理運営業務

特別展「大シルクロード」展に9万人の入館者を迎え、年間の展覧会入場者数は昨年度を大きく上回ったが、エレベーターの更新工事により貸展示室を約2ヶ月間休室した影響で全体の入館者数は前年度比6万人増にとどまった。収支は、赤字となった展覧会が多かったこと、貸展示室事業の休室による収入減そして物価高騰の影響により全体として赤字となった。

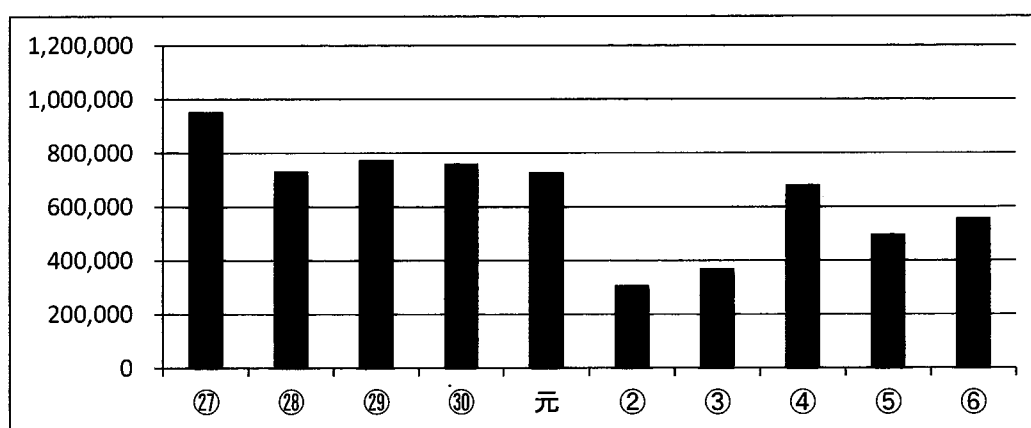
一方で、特定費用準備資金「京都文化プロジェクト事業準備資金」を活用して、14年ぶりに2階総合展示室の歴史展示エリアをリニューアルし、3月20日から一般公開した。

(1) 令和6年度利用者数状況

区 分	展覧会入館者	貸展示室等 利用者	ろうじ店舗等 利用者	総 計
来館者数	282,332	185,491	90,071	557,894

(参考) 過去10年間の入館者数実績

年 度	展覧会入館者	貸展示室等 利用者	ろうじ店舗等 利用者	総 計
㉗	456,529	315,571	181,139	953,239
㉘	283,487	291,152	157,688	732,327
㉙	286,370	331,017	158,182	775,569
㉚	270,205	343,129	147,873	761,207
元	310,813	274,299	143,215	728,327
②	129,425	113,333	64,665	307,423
③	120,554	185,285	64,195	370,034
④	416,867	179,998	84,853	681,718
⑤	211,952	206,787	79,559	498,298
⑥	282,332	185,491	90,071	557,894



エレベーター更新工事：令和6年9月3日～11月13日まで

2階総合展示室（歴史展示エリア）リニューアル工事：令和7年2月15日～3月19日まで

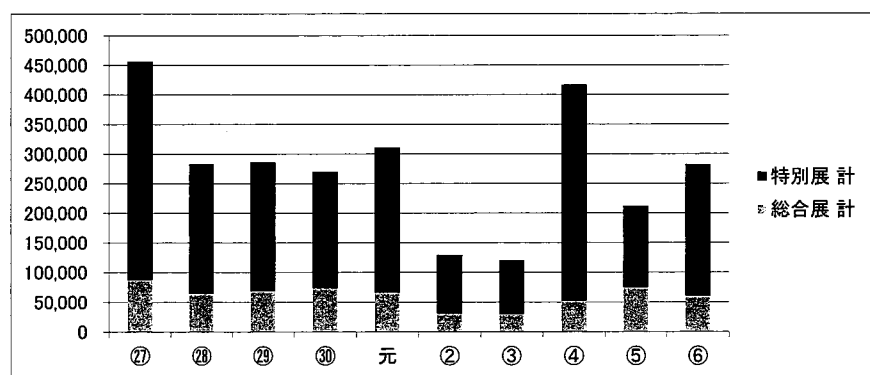
(2) 入館者数

(単位：人)

	総合展			特別展			合計		
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	合計
令6年4月	2,863	1,702	4,565	5,750	1,930	7,680	8,613	3,632	12,245
令6年5月	2,448	1,902	4,350	4,364	1,846	6,210	6,812	3,748	10,560
令6年6月	3,323	2,562	5,885	4,283	2,298	6,581	7,606	4,860	12,466
令6年7月	3,912	1,538	5,450	12,549	2,515	15,064	16,461	4,053	20,514
令6年8月	2,956	2,275	5,231	16,145	3,467	19,612	19,101	5,742	24,843
令6年9月	3,924	2,477	6,401	5,376	2,165	7,541	9,300	4,642	13,942
令6年10月	4,772	2,733	7,505	10,007	4,826	14,833	14,779	7,559	22,338
令6年11月	3,250	3,554	6,804	7,902	4,966	12,868	11,152	8,520	19,672
令6年12月	1,248	2,684	3,932	16,077	12,802	28,879	17,325	15,486	32,811
令7年1月	1,574	1,669	3,243	39,514	34,251	73,765	41,088	35,920	77,008
令7年2月	1,801	2,515	4,316	9,934	4,263	14,197	11,735	6,778	18,513
令7年3月	1,329	1,441	2,770	10,739	3,911	14,650	12,068	5,352	17,420
計	33,400	27,052	60,452	142,640	79,240	221,880	176,040	106,292	282,332

(参考) 過去10年間の入館者数実績

	総合展			特別展			合計		
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	合計
㉗	25,909	62,651	88,560	253,770	114,199	367,969	279,679	176,850	456,529
㉘	29,078	35,962	65,040	122,616	95,831	218,447	151,694	131,793	283,487
㉙	33,798	35,422	69,220	114,518	102,632	217,150	148,316	138,054	286,370
㉚	33,897	40,316	74,213	90,655	105,337	195,992	124,552	145,653	270,205
元	30,283	36,497	66,780	144,109	99,924	244,033	174,392	136,421	310,813
②	12,051	18,513	30,564	66,057	32,804	98,861	78,108	51,317	129,425
③	11,747	18,698	30,445	71,402	18,707	90,109	83,149	37,405	120,554
④	23,360	29,348	52,708	328,383	35,776	364,159	351,743	65,124	416,867
⑤	43,861	31,550	75,411	75,976	60,565	136,541	119,837	92,115	211,952
⑥	33,400	27,052	60,452	142,640	79,240	221,880	176,040	106,292	282,332



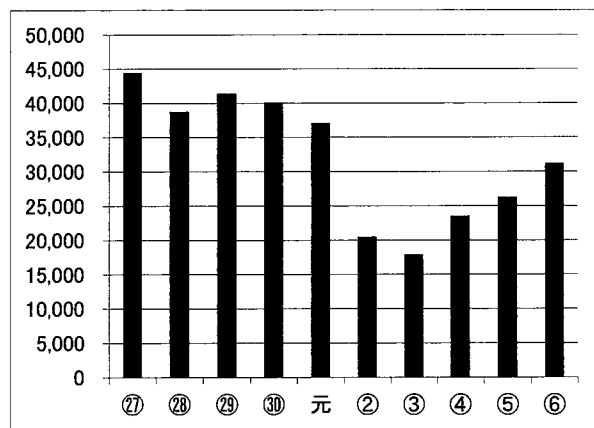
(3)-1 特別展の状況

(単位:人)

展 覧 会 名	共催者等	開催期間(日数)	入館者数	1日平均
コスチュームジュエリー 美の変革者たち シャネル、ディオール、スキャパレッリ 小瀧千佐子コレクションより	京都府、京都文化博物館、毎日放送	2月17日～4月14日 (12/50日間【4/1～4/14】)	【4月1日～14日迄】 6,418人	【4月1日～14日迄】 534人
松尾大社展 みやこの西の守護神	京都府、京都文化博物館、松尾大社、朝日新聞社	4月27日～6月23日(51日間)	14,053人	275人
日本の巨大ロボット群像 —鉄人28号、ガンダム、ロボットアニメの浪漫—	京都府、京都文化博物館、産経新聞、関西テレビ放送	7月6日～9月1日(51日間)	35,919人	704人
生誕140年記念 石崎光瑤	京都府、京都文化博物館、毎日新聞社、京都新聞	9月14日～11月10日(50日間)	27,741人	554人
日中平和友好条約45周年記念 世界遺産 大シルクロード展	京都府、京都文化博物館、中国文物交流中心、毎日新聞社、京都新聞、MBSテレビ	11月23日～2025年2月2日(56日間)	90,830人	1,622人
Kyoto Art for Tomorrow 2025— 京都府新鋭選抜展—	京都府、京都文化博物館	12月21日～2025年1月13日(14日間)	25,637人	1,831人
カナレットとヴェネツィアの輝き	京都府、京都文化博物館、毎日新聞社、MBSテレビ、スコットランド国立美術館	2月15日～4月13日 (38日/50日間【3/31迄】)	【3/31迄】 21,282人	【3/31迄】 560人
合計(7回)		開催日数(272日間)	221,880人	815人

(4) フィルムシアターの利用状況

	利用者数
令和6年 4月	2,178
〃 5	2,633
〃 6	2,782
〃 7	2,010
〃 8	2,894
〃 9	2,913
〃 10	2,775
〃 11	2,660
〃 12	2,333
令和7年 1月	2,629
〃 2	3,189
〃 3	2,221
計	31,217
月平均利用者数	2,601



(参考) 過去10年間の利用者実績

27	44,442
28	38,779
29	41,406
30	40,058
元	37,069
2	20,506
3	17,901
4	23,553
5	26,276
6	31,217

(5) 展示室（貸室）の利用状況

展示室	種 別	利用日数	利用率	入場者数
5 階展示室	一般 (収益)	102日	73%	24,208 人
	作家 (公益)	84日	—	24,084 人
6 階展示室	一般 (収益)	92日	42%	12,571 人
	作家 (公益)	15日	—	4,681 人
合計		—	—	65,544 人

前年度入場者数
18,448 人
29,067 人
13,743 人
1,546 人
62,804 人

展示室	種 別	利用日数	利用率	入場者数
別館ホール	貸ホール (収益)	202日	—	96,080 人
	主催	7 日	—	23,867 人
合計		209日		119,947 人

前年度入場者数
110,593 人
33,390 人
143,983 人

(6) ろうじ店舗等利用状況

区 分	利用人数	月平均	前年度 利用者数
物販・飲食店 (10店舗)	90,071 人	7,505	79,559 人

2 事業実施状況

<公益目的事業>

(1) 総合展示事業 (2 階)

① 「京の歴史」エリア

平安・鎌倉・室町・江戸の各時代を 150 インチ×4 画面の大迫力で再現したビジュアル「絵巻回廊」のほか、最新技術による映像資料と「ほんまもん」の実物資料で京都の歴史を紹介。(令和 7 年 2 月 14 日まで)

② 「京の歴史」エリアのリニューアル

令和 7 年 3 月 20 日、14 年ぶりに歴史展示をリニューアルした。京都府所蔵(京都文化博物館管理)の文化資料を活用しつつ、近年の新しい知見と最新技術(プロジェクションマッピングや高精細デジタル画像)を駆使して、京都の歴史を紹介。京都府と博物館の所蔵資料で展示を構成することで写真撮影が可能となっている。

③ 「京の至宝と文化」

開催期間	展 覧 会 名
4 月 13 日～ 6 月 2 日	三國幽眠-勤王漢学者と京都
6 月 8 日～ 7 月 28 日	天平の都 恭仁宮 最新の発掘調査成果から
8 月 3 日～ 9 月 23 日	福井勇一 あいまいな輪郭
8 月 3 日～ 9 月 23 日	足利将軍、京都に住まう。
9 月 28 日～ 11 月 24 日	近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝 14 —御堂関白記と源氏物語
9 月 28 日～ 11 月 24 日	池大雅展 山水颯爽
11 月 30 日～ 2025 年 1 月 26 日	鶴澤派探求 —朝廷御用絵師の要—
2 月 1 日 ～ 4 月 13 日 (2 月 15 日～3 月 19 日休室)	古写真と絵葉書で巡る京の名所

④ 「京のまつり」

6 月 5 日 ～ 8 月 4 日	祇園祭—山鉾巡行の歴史と文化
8 月 10 日 ～ 10 月 6 日	京都府コレクションにみる刺繍の世界
10 月 12 日 ～ 12 月 1 日	京都府内の学校所在資料展 3
12 月 14 日～2025 年 2 月 2 日	うつす美 —江戸時代の絵画学習

(2) 総合展示事業 (3 階・映像)

火曜日～日曜日 午後 1 時 30 分～、午後 6 時 30 分～(土、日、祝は午後 1 時 30 分～、午後 5 時～)

開催期間	タイトル・特集名
令和 6 年 4 月 1 日～5 月 9 日	【生誕 100 年記念】映画女優淡島千景特集
5 月 10 日～5 月 31 日	映画に見る平安時代
6 月 1 日～2 日	feature in sound 大野松雄の仕事
6 月 4 日～6 月 30 日	社会派サスペンス映画劇場
7 月 2 日～7 月 31 日	熱狂！チャンバラ・スターの時代
7 月 16 日、17 日、24 日	祇園祭記念特別上映
8 月 2 日～8 月 4 日	第 30 回京都国際子ども映画祭
8 月 6 日～9 月 5 日	特撮魂！—映画職人の夢と汗

8月16日、17日	【特別展「日本の巨大ロボット群像」関連企画】ロボットアニメの熱さと絆—ガールパワーと熱血ロボット—
9月6日～9月8日	日本映像学会関西支部第44回夏期映画ゼミナール日本の女性映画人
9月10日～9月23日	【没後20年】水上勉の世界を描く
9月25日～10月6日	映画特集映画撮影監督吉田貞次を偲ぶ～七回忌追悼上映
10月8日～11月8日	生誕100年 高峰秀子 銀幕に生きる
11月9日～11月17日	ぴあフィルムフェスティバル in 京都 2024
11月19日～12月1日	コメディアンのに至芸 ～喜劇映画特集
11月23日	【京都ヒストリカ国際映画祭プレ企画】平安時代とアニメーション～時代を越えるミレニアムアニメーション～
12月3日～12月8日	第16回 京都ヒストリカ国際映画祭
12月10日～12月27日	悩み躓く偉人達
12月13日～12月15日	京まちなか映画祭 in 京都文化博物館
令和7年1月4日～2月24日	映画と小説の密な関係 - 文芸映画特集
2月6日～2月9日	第27回京都国際学生映画祭
2月14日	第77回映像技術賞「映像技術賞作品を見る会&トークイベント」
2月23日	京都映画賞授賞式と受賞作品上映
2月26日～3月9日	メキシコ映画の大回顧
3月11日～3月19日	映画俳優が監督になる時 - 島耕二、山村聰、佐分利信、そして田中絹代
3月15日	「カナレットとヴェネツィアの輝き」展関連映画上映
3月20日～4月30日	【京の歴史展示エリア新記念】「日本のハリウッド・京都」撮影所特集
3月22日	キヤウト コタン — 京都でふれるアイヌ文化記念上映

総合展示（映像）関連事業（外部共催上映等）

開催日	タイトル	講演者等
6月1日～2日	feature in sound 大野松雄の仕事 共催：Brand new day	『アトム足音が聞こえる』『裸の島』『世界は恐怖する死の灰の正体』『めもりい』『ゼロの発見』『土くれ 木内克の芸術』『猫の散歩』の上映と富永昌敬監督の講演。 鑑賞者数：157人（79人／1日）
8月4日～6日	第30回京都国際子ども映画祭 共催：キンダーフィルムフェストきょうと	世界各国で製作される子ども映画を、ベルリン国際映画祭ジェネレーション部門受賞作を中心に集め、子ども審査員によりコンペティションを行う。『僕とアーシャの不思議な旅』『窓ぎわのトットちゃん』『ミツパチと私』『ロイドの要心無用』等13作品を上映。 鑑賞者数：727人（242人／1日）
9月6日～8日	第44回日本映像学会関西支部夏期映画ゼミナール 日本の女性映画人 共催：日本映像学会関西支部	『春琴抄 お琴と佐助』『雪夫人絵図』『黒い画集 あるサラリーマンの証言』『愛と希望の街』『この広い空のどこかに』『恋文』の上映とトーク。 鑑賞者数：470人（157人／1日）

9 月 25 日～10 月 6 日	映画特集映画撮影監督吉田貞次を偲ぶ～七回忌追悼上映 共催：日本映画撮影監督協会	『血槍富士』『妖刀物語 花の吉原百人斬り』『この首一万石』『宮本武蔵 一乗寺の決斗』『宮本武蔵 巖流島の決斗』『暴れん坊街道』『仁義なき戦い』の上映と浜田毅、芹澤明子、森脇清隆によるトーク。 鑑賞者数：3,092 人（110 人／1 日）
11 月 9 日～17 日	第 46 回びあフィルム・フェスティバル (PFF) 主催：一般社団法人 PFF（びあフィルムフェスティバル）	『HIGH-SCHOOL-TERROR』『UNK』『カラオケ喫茶ボサ』『Lighthouse』『流れる』『アスタースクールデイズ』『苺のジャムとマーガリン』『帰路』等 41 作品の上映と受賞監督のトーク。 鑑賞者数：779 人（97 人／1 日）
11 月 23 日	【京都ヒストリカ国際映画祭プレ企画】平安時代とアニメーション 共催：立命館大学映像学部	TV アニメ『平家物語』第 1 話、第 2 話、第 3 話の上映と琵琶の演奏。 鑑賞者数：80 人（80 人／1 日）
12 月 3 日～8 日	第 16 回京都ヒストリカ国際映画祭 主催：京都ヒストリカ国際映画祭映画祭実行委員会（京都府、京都文化博物館、東映株式会社京都撮影所、株式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巖本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、立命館大学） 共催：KYOTO CMEX 実行委員会	『侍タイムスリッパ』『ワンス・アポン・ア・タイム・イン・カリビアン』『農民』『人情紙風船』『基盤斬り』『夏の嵐』『せかいのおきく』『山中貞雄に捧げる漫画映画「鼠小僧治郎吉」』『SHOGUN 将軍』（第 1・2 話）等 17 作品の上映と丸山正雄、大地丙太郎、りんたろう、白石和彌、阪本順治、小泉堯史、レイ・フィゲロア等のトーク。 鑑賞者数：1,056 人（176 人／1 日）
12 月 6 日～8 日	第 17 回京都フィルムメーカーズラボ (Kyoto Filmmakers Lab 2023-24) 主催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会 共催：第 34 回東京国際映画祭実行委員会、イタリア文化会館-大阪、KYOTOCMEX 実行委員会	世界各国から若手映画作家を招き、東映、松竹の両撮影所で 5 分の短編時代劇 2 作品を製作する合宿形式のワークショップ（公用語：英語）。web 公募の結果、ラボとマスターズセッション含め 377 名（アルゼンチン、オーストラリア、バングラデシュ、ベルギー、ブラジル、ブルガリア、カンボジア、カナダ、コロンビア、クロアチア、エストニア、フランス、ドイツ、インド、インドネシア、イタリア、カザフスタン、マレーシア、ネパール、パキスタン、パナマ、トルコ、ポーランド、プエルトリコ、シンガポール、スペイン、スウェーデン、フィリピン、タイ、イギリス、アメリカ合衆国、ベトナム、韓国、中国、日本）の応募から時代劇製作には 21 名が参加となった。東映、松竹の京都撮影所で安藤清人（東映）、高橋剣（東映）、永島聡（松竹）監修の時代劇製作ワークショップを開催。
12 月 9 日～11 日	京都フィルムメーカーズラボ・マスターズセッション 主催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会 共催：第 34 回東京国際映画祭実行委員会、イタリア文化会館-大阪、KYOTOCMEX	京都フィルムメーカーズラボ参加者＋マスターズセッション参加者（17 名）、アニメ作品『鼠小僧次郎吉』の上映とりんたろう、丸山正雄のトーク、『せかいのおきく』の上映と阪本順治のトーク、宮川絵理子

	実行委員会	(『SHOGUN』プロデューサー)、ヴァレンティナー・ペローモ (ヴェネツィア・ビエンナーレ BCC ディレクター)、クリスティアン・フィリップ等による講演。 鑑賞者数：767 名人 (257 人/1 日)
12 月 13 日～15 日	京まちなか映画祭 2024 in 京都文化博物館 主催：京まちなか映画祭実行委員会	『拳銃と目玉焼き』『怪奇！！幽霊スナック殴り込み！』『侍タイムスリッパ (スペシャルロング版)』の上映と安田淳一、バンヒロシらのトーク。 鑑賞者数：360 人 (120 人/1 日)
令和 7 年 2 月 6 日～9 日	第 27 回京都国際学生映画祭 共催：公益財団法人大学コンソーシアム京都	『ボウルミーツガール』『恍惚的眼前』『Dissonance』『GO GO まりこ』『Heirloom』『Vortex』『Stabat Mater』『Searching for Sol』『REDMAN』『BLUE GIANT』等 29 作品の上映と入選監督と審査員のトーク。 鑑賞者数：534 人 (134 人/1 日)
2 月 23 日	京都映画賞授賞式と受賞作品上映	受賞作『碁盤斬り』の上映と京都映画賞受賞者の表彰式。 鑑賞者数：130 人 (130 人/1 日)
2 月 26 日～3 月 9 日	メキシコ映画の大回顧 共催：国立映画アーカイブ、メキシコ国立自治大学フィルモテカ、メキシコ・シネテカ・ナショナル、メキシコ映画機構	『パンチョ・ビリャと進め』『誰の女でもない』『エナモラーダ』『港の女』『犯罪者の手』『忘れられた人々』『制服の処女』『街娼』『あぶない二人』『ロス・カイファネス』『黄金の鶏』の上映と池元慎、大傍正規のトーク。 鑑賞者数：1,140 人 (104 人/1 日)
3 月 20 日	日本映画テレビ技術協会「映像技術賞作品を見る会&トークイベント」 共催：日本映画テレビ技術協会	『おまえの罪を自白しろ』『FNN Live News イット！岸田首相襲撃・爆発の現場』『ケの日のケケケ』『ゴッドハンド 流転の秘宝を復元せよ』の上映と受賞監督のトーク。 鑑賞者数：117 人 (117 人/1 日)
3 月 22 日	キヤウト コタン — 京都でふれるアイヌ文化記念上映 共催：国立アイヌ民族博物館	『ハツカネズミが酒をつくった -エトウチケレ サケカラ ハンキリキリ-』『神の山にのぼった男 -カムイヌプリ カエパクル-』『カラスの会話 - パシクル ウコイタク-』『ニタイパカイエ』の上映と内田祐一のトーク。 鑑賞者数：60 人 (60 人/1 日)

(3) 特別展示関連事業

①『松尾大社展 みやこの西の守護神』

内容	開催日	タイトル	講演者等	参加者数
トーク会	5 月 21 日	「近代洋風建築で楽しむお酒のタベ」	佐々木酒造 蔵元 佐々木晃 鵜飼商店四代目店主 中上倫子	45 人

			司会：当館学芸員 佐藤稜介	
歴史ウォーク	5月25日	「松尾大社を歩く」	本展監修者、京都芸術大学教授 野村朋弘	30人
シンポジウム	6月13日	特別展記念シンポジウム	本展監修者、京都芸術大学教授 野村朋弘 国立歴史民俗博物館准教授 天野真志 鳥取市立歴史博物館学芸員 石井伸宏 共立女子短期大学非常勤講師 佐々木創 東京大学史料編纂所特任助教 渋谷綾子	152人
ギャラリートーク	5月8日、5月10日、5月15日、5月22日、5月24日、5月29日、6月5日、6月7日、6月12日、6月19日（計10回）		当館学芸員 西山剛 佐藤稜介	20人 36人 28人 22人 48人 25人 27人 31人 27人 40人

②『日本の巨大ロボット群像-鉄人28号、ガンダム、ロボットアニメの浪漫-』

内容	開催日	タイトル	講演者等	参加者数
講演会	7月6日	「玩具・プラモから見るロボット アニメーマジngerZ からガン ダム、そしてファイブスター物語 へ」	アニメーション研究家、本 展ゲストキュレーター 五十嵐浩司 インディペンデント・キュ レーター、本展監修者 山口洋三	136人
オフ会※	7月14日	「ロボットアニメの浪漫」	京都国際マンガミュージアム学芸室員 應矢泰紀 当館学芸員 上村茉莉絵	40人
ワークショップ	8月25日	「はじめてのロボットプラモデ ル講座」	株式会社ボックス	62人
ギャラリートーク	7月25日、 8月1日	おやこ鑑賞会	当館学芸員 上村茉莉絵	7人 10人
座談会※	8月14日	「プロと“観る”アニメ UI（ユ ーザーインターフェース）研究者 と語るロボットアニメ」	福知山公立大学教授 倉本 到 当館学芸員 上村茉莉絵	50人
ナイトギャラリー トーク※	8月2日、8月23日（計2回）		当館学芸員 上村茉莉絵	20人 55人
上映会※	8月16日、 8月17日	「ロボットアニメの熱さと絆— ガールパワーと熱血ロボット—」	上映作品 8月16日『サクラ大戦 活 動写真』	138人 162人

			8月17日『プロメア』	
配布物※	会期中の開館日	曜日ごとの日替わりでオリジナル塗り絵を配布	-	-

※はナイトミュージアム関連事業。

③『生誕140年記念 石崎光瑠』

内容	開催日	タイトル	講演者等	参加者数
講演会	9月21日	「石崎光瑠 魅力、再発見」	当館学芸員 植田彩芳子	92人
座談会	9月29日	「深掘り！石崎光瑠を語り尽くす」	南砺市立福光美術館元副館長 渡邊一美 南砺市立福光美術館学芸員 川邊紫音 京都市立芸術大学芸術資料館学芸員 松井菜摘 当館学芸員 植田彩芳子	80人
特別対談	10月6日	「光瑠×若冲 その魅力を語る」	小説家 澤田瞳子 当館学芸員 植田彩芳子	162人
コラボギャラリートーク	10月4日、10月18日	「京都府立植物園×石崎光瑠」	京都府立植物園 当館学芸員 植田彩芳子	68人 67人
ギャラリートーク	10月10日、10月24日（計2回）		当館学芸員 植田彩芳子	67人 60人
ワークショップ※	10月9日	深掘り！鑑賞ワークショップ	当館学芸員 植田彩芳子	26人
ナイトギャラリートーク※	10月4日、10月11日、10月18日（計3回）		当館学芸員 植田彩芳子	42人 65人 38人
English ナイトギャラリートーク※	10月16日、10月30日（計2回）		当館学芸員 植田彩芳子	22人 30人
音楽会※	11月1日	ナイトミュージアム KANSAI 特別イベント 「アートと音楽の夕べ～JAZZ ピアニスト高木里代子を迎えて～」	JAZZ ピアニスト 高木里代子	83人

※はナイトミュージアム関連事業。

④『日中平和友好条約45周年記念 世界遺産 大シルクロード展』

内容	開催日	タイトル	講演者等	参加者数
講演会	12月21日	「シルクロードと正倉院」	大阪市立美術館館長 内藤栄	125人

⑤『Kyoto Art for Tomorrow 2025 -京都府新鋭選抜展-』

内容	開催日	タイトル	講演者等	参加者数
イベント	12月21日	「特別展示作家によるアーティスト・トーク」	特別展示作家 高瀬葉菜	37人
ギャラリートーク	12月22日、1月5日（計2回）		出品作家	27人 53人

⑥『カナレットとヴェネツィアの輝き』

内容	開催日	タイトル	講演者等	参加者数
講演会	2月15日	「ヴェネツィアの都市空間とその描き方の変遷」	法政大学名誉教授 陣内秀信	136人

上映会	3月15日	関連映画上映『MOLECOLE～分子～』 企画：イタリア文化会館-大阪	190人
ワークショップ	3月22日	「カメラ・オブスキュラをつくろう」 京都経済短期大学専任講師 植田憲司	13人
ギャラリートーク	2月21日、3月7日、3月27日（計3回）	当館学芸員 清水智世	52人 53人 34人

（４）京都府立京都学・歴彩館展示

京都府に新たに寄贈された作品を紹介した「林康夫・坪井明日香展」と没後 100 年を機会に京都府コレクションから「今尾景年展」の計 2 回の展示会を開催した（総入場者数 5,444 名（「林康夫・坪井明日香展」1,392 名、「今尾景年展」4052 名）。

開催日	展覧会名
4月13日～6月9日（52日間）	「林康夫・坪井明日香展—前衛表現の気概—」
ギャラリートーク（3回）4月25日、5月16日、5月30日 当館学芸員 洲鎌佐智子	
1月11日～3月9日（50日間）	「今尾景年展」
ギャラリートーク（3回）1月30日、2月27日、3月6日当館学芸員 植田彩芳子	

（５）京都文化プロジェクト事業

京都文化プロジェクト事業準備資金を活用し、博物館資料のデジタル展示を強化するとともに、2025 年の関西万博に合わせ京都文化の発信を強化するため、以下の事業に取り組んだ。

- ① 総合展示室「歴史展示」エリアのリニューアル事業（再掲）
近年の新しい知見と最新技術（プロジェクションマッピングや高精細デジタル画像）を駆使して、京都の歴史を紹介するため、総合展示室「歴史展示」エリアをリニューアルした。
- ② 未公開・修復資料等の公開等事業 近代美術資料等地域資料のデジタル化。
- ③ 博物館活動の強化事業 総合展示『鶴澤派探求』展の図録製作、展示台製作等による展示機能の強化。

（６）地域連携文化事業

地域と連携しながら、文化活動の発信の強化や新たな機能の創造と魅力向上を図る取組みとして、京セラ美術館や滋賀県立美術館等と連携し、夜間のイベント開催による新たな魅力による来館者の増加を目指す事業を計画・実施した。事業の原資となる「地域連携文化事業準備資金」は、文化庁 Innovate MUSEUM 事業（ナイトミュージアム KANSAI 事業）補助金の採択を受けたため、今年度の取り崩しを免れた。

（７）学習普及活動

- ① ぶんぱく子ども教室事業
広く小中学生を対象として開催している学習普及活動。令和 6 年度は実施していない。
- ② 博物館実習の受け入れ
神戸大学ほか計 10 大学の学生 10 人を対象に、8 月 19～23 日の日程で実習を実施した。

（８）調査研究活動

歴史、考古、民俗、美術工芸、映像の各分野で調査研究を行い、研究紀要『朱雀』第36集を刊行するとともに、総合展示、特別展示の実施と展覧会の充実に努めた。

〔京都文化博物館研究紀要『朱雀』第36集〕

○論考

- ・井上式地理歴史標本の製作工程に関する覚書
 ー台湾原住民模型標本「博多焼熱帯地方人形」についてー 村野 正景・平田 健

○研究ノート

- ・近代京都絵画の展覧会史を振り返る 植田彩芳子
- ・京都文化博物館の外国人来場者調査
 :データから外国人対応のあり方を考える 学習普及連携室

○資料紹介

- ・祇園祭・郭巨山御神体人形の古衣裳について 橋本 章
- ・京都府立鴨沂高等学校所蔵の埴輪
 :学校資料の考古学的・博物館学的分析 村野 正景・河内 一浩
- ・翻刻『臥游集』（京都府立京都学・歴彩館所蔵）(三) 有賀 茜・松井 直人・吉野 健一

- 翻刻 「一洗堂年表」（明治編）ー三國幽眠の日記 畑 智子

(9) 外部連携活動

① 京都市内4館連携協力協議会の活動（京都ミュージアムズ・フォー）

今年度は合同部会を1回、学芸部会を1回、全体会を1回開催し、以下の連携事業を実施した。

- ・連携講座の実施（9月21日）
- ・4館の合同年間スケジュールの作成
- ・各館友の会会員相互割引制度の実施
- ・4館相互割引及びスタンプラリーの実施。

② 「京都アート・クラフトマーケット」の開催

コロナ禍の終息に加え、インバウンドの拡大が予想されたため、ブース数を増やした。来場者数は昨年より減少したが、インバウンド拡大の影響で外国人の来場・購入が多く、売り上げは前年度を大きく上回った。（7,635千円⇒10,168千円）

開催日	出展数	入場者数
10/12(土)～14(月祝)	84 ブース (79 ブース)	22,847 人 (30,367 人)

() 内は昨年度実績

③ 「京都文化次世代データセンター（仮称）」の発展と活用促進のためのプロジェクト（「文化庁 Innovate MUSEUM 事業（地域課題対応支援事業）」）

本事業は、京都文化博物館が中核館を担う京都歴史文化施設クラスター実行委員会の事業として文化庁補助金を得て実施した（補助金実績額は3,891千円）。本事業の構成団体である京都府、京の三条まちづくり協議会、姉小路界限を考える会、京都市歴史資料館、京都市考古資料館、京都市生涯学習総合センター、京都市学校歴史博物館、千總文化研究所、古文化保存協会と協働し、デジタルアーカイブ化の実践にかかる技術や制度や行動指針等についての研鑽を積み重ね人材育成を図り、資料のデジタル化を促進しデータストックを充実させ、デジタル化した博物館資料などの文化財を地域課題解決への方途を探る実践をおこなった。そして今年度は以下の事業に取り組んだ。

ア 人材育成事業

3Dによる資料のデジタル化の専門家を招いた講習会やAIによる古文書解読技術の専門家との協業によるデジタル化した資料の活用についての講習会を4回開催し、のべ71名が参加して人材の育成を進めることができ、技術の更なる習得と研鑽に努めた。

イ データストック事業

中核館のデータセンター機能を活用して連携を組む各館の資料の高精細撮影を実施し、博物館が収蔵する地域資料や企業がもつ資料1,033件について都合27,100カットの撮影を行なった。特にこれまで世に出ることのなかった日記や文献資料をデジタルデータ化し、その一部を文化遺産オンラインを活用して公開した。また資料の翻刻を進めてそのデータを汎用データベース機能を用いて公開しオープン化を実践した。

ウ データオープン化事業

5回のワークショップを通じて広く一般の方々にデジタル技術を活用した新しい資料の公開方法を提案し、またデジタル技術の多様な活用に関するシンポジウムを開催して、文化資源の活用による地域課題の解決に向けた方途を探るため研究者や専門家と共にディスカッションを行ない、一般の参加者からも意見のフィードバックを得た。

④ 美術館・博物館の夜間活用による新たな価値創出事業（ナイトミュージアム KANSAI 事業） （令和6年度文化庁 Innovate MUSEUM 事業）

本事業は、ナイトミュージアム KANSAI 実行委員会（構成団体：当館、京都市京セラ美術館（中核館）、公益社団法人 関西経済連合会、関西電力株式会社、滋賀県立美術館、西日本旅客鉄道株式会社）の事業として文化庁補助金を得て実施した（当館補助金実績額2,841千円）。当館、京都市京セラ美術館、滋賀県立美術館の各館で事業を実施し、当館では『日本の巨大ロボット群像』展と『生誕140年記念 石崎光瑠』展の2つの展覧会と別館ホールでのイベントを対象として、下記の事業に取り組んだ。

ア 日本の巨大ロボット群像展

会期中の水曜日及び金曜日に開館時間の延長（18:00～20:30） 入館者 577 人

オフ会「ロボットアニメの浪漫」 7月14日（再掲）

ナイトギャラリートーク 8月2日、23日（再掲）

外国人向け解説シート、ワークシートの作成

オリジナル塗り絵の作成・配布（再掲）

座談会「プロと”観る”アニメーUI 研究者と語るロボットアニメー」 8月14日

上映会「ロボットアニメの熱さと絆ーガールパワーと熱血ロボットー」 8月16日、17日
(再掲)

イ 『生誕140年記念 石崎光瑠』（9月14日～11月10日）

会期中の水曜日及び金曜日に開館時間の延長（18:00～20:30） 入館者 688 人

深掘り！鑑賞ワークショップ 10月9日（再掲）

ナイトギャラリートーク 10月4日、11日、18日（再掲）

同時通訳付き！Englishナイトギャラリートーク 10月16日、30日（再掲）

音楽会「アートと音楽の夕べ～JAZZ ピアニスト高木里代子を迎えて～」11月1日（再掲）

ウ 「秋の夜長の月待ちコンサート」 10月17日 参加者 300 人

京都市立芸術大学古典派音楽研究会によるクラシックのコンサート。

エ 祝ユネスコ無形文化遺産登録「みんなで楽しむ風流踊」 7月15日 参加者 450人

「風流おどりと秋の宵」 10月18日 参加者 270人

ユネスコ無形文化遺産に登録された日本各地の「風流踊」のうち、京都に所在する「嵯峨野六斎念仏保存会」による公演。

(10) 友の会事業

会員数は、令和6年度末現在、673人（A会員317人、グループ会員120人、B会員236人）である。

（令和5年度末、605人（A会員291人、グループ会員95人、B会員219人））

会員への博物館情報発信と来館促進のため、「友の会通信」を毎月1回発行した。

博物館主催事業に会員向け優先参加枠を設定し、実施した。

・特別展「生誕140年記念 石崎光瑠」関連イベント

特別対談「光瑠×若冲 その魅力を語る」に参加枠を設定 10月16日（日）（参加者：6名）

(11) 博物館ボランティア事業

より開かれた博物館を目指し、博物館と来館者をつなぐ役割を自主的に担うことを目的としている。令和6年度は75名（日本語39名、英語28名、その他言語8名）が在籍し、2階総合展示室「京の歴史エリア」にて、来館者への案内、解説、誘導、監視等の活動を行った。

活動にあたっては、研修等を充実させることにより、スタッフの資質とやりがいの向上に努めた。

○令和6年度の活動実績

・総合展示担当学芸員による、ボランティア研修 13回

・第13期ボランティアの委嘱式（令和6年6月2日）

<収益目的事業>

(1) 貸展示室事業

・ろうじ店舗東側通路に、貸展示室利用者の催事を紹介するスペースとして有料ポスター掲示板を整備し、8月から運用を開始した。

・特に優れた文化事業に対し、「特別協力」及び「後援」のかたちで応援した。

特別協力：KYOTOグラフィー、「第25回能装束・能面展」（片山家能楽・京舞保存財団）

後援：第24回福知山佐藤太清賞公募美術展

(2) 貸店舗事業（ろうじ店舗）

・ろうじ店舗に「鮎しん」と「京めし処しげちゃん」が新たにオープンした。

・にぎわい創出を目的として、博和会及びろうじ店舗入店者を対象に「西北スペース」や「東側通路」を提供。博和会「宇治観光土産物特設ショップ」など（5回）、大垣書店サイン会（3回）

・特別展「石崎光瑠展」「大シルクロード展」「カナレット展」について「前田珈琲」と連携し、コラボメニューを開発・提供した。

Ⅲ 京都府立文化芸術会館・京都府立府民ホール

1 管理運営業務

「文化芸術会館」及び「府民ホール」については、指定管理者「創」として締結した京都府との協定に基づき管理運営を行った。（文芸会館指定管理期間：令和5年4月から令和10年3月までの5年間、府民ホール指定管理期間：令和2年4月から令和7年3月までの5年間）

令和6年度は、これまでの指定管理者としての経験を生かし、両館の人的資源の有効活用や、株式会社コングレの持つ民間事業者の弾力的・機動的な運営能力を活かし、財団の目的に沿った京都文化の豊かな創造、発展に寄与した。府民ホールは、今年度、指定管理期間の最終年度であったが、令和7年4月1日から5年間引き続き指定管理者の指定を受けた。

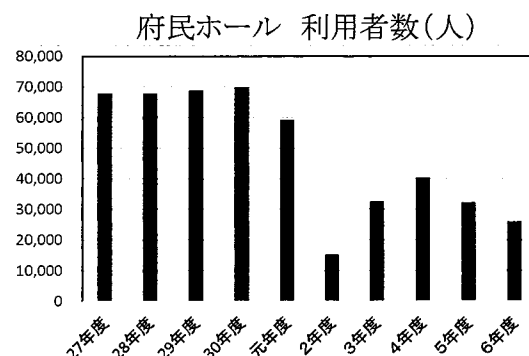
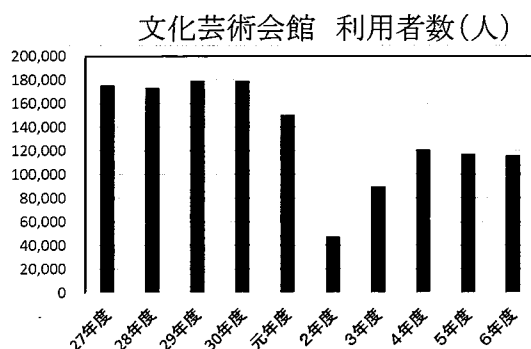
文化芸術会館の利用者数は前年度と同程度で、依然としてコロナ禍以前の70%程度にとどまっている。ホール利用率及び展示室利用率は、高齢者層を中心に利用が戻っており、回復は足踏み状態となっている。

府民ホールは令和6年1～8月まで耐震工事等により休館したため（令和6年度は4～8月の5ヶ月の休館）、昨年度と比べて利用者数、公演回数とも減少したものの、リニューアル後の利用率は88%に上り、回復しつつある。しかし、文化芸術会館と同様、入館者数はコロナ前の水準には戻っていない。

施設利用状況総括表

施設名	利用者数（人）	利用率	公演回数
文化芸術会館	116,153 (前年度 117,300) * 10,046,963	ホール 65.0% (71.1%) 展示室 76.7% (80.5%)	144 (151)
府民ホール	25,983 (前年度 32,279) * 2,189,304	ホール 88.4% (77.9%)	103 (129)
計	142,136 (前年度 149,320) * 12,236,267		

() は前年度 * は開館からの累計



(1) 施設利用状況

① 京都府立文化芸術会館

施設別の利用状況については、

- ・令和6年度のホール利用状況は次のとおりであり、利用率65.0%（5年度は71.1%）であった。
 - ・展示室は、1階 260日、2階 215日、3階 28日の利用日数であった。
 - ・年間会館入場者数は116,153人であった。前年度と比較してホールの利用者は増加したが、展示室・会議室の利用者は減少（▲5,132人）した。
- 利用状況の詳細は、以下のとおりである。

（令和6年4月～令和7年3月）

（単位：日・回・件・人）

区 分	ホ ー ル	展 示 室				会 議 室	合 計
		1 階	2 階	3 階	計		
利用日数 (和室公演) (会議室に分類)	185	260	215	28	503	—	—
公演回数/件数	144	41	37	8	86	648	878
入場者数	50,813	22,091	16,092	1,761	39,944	25,396	116,153

— 参 考 —

（令和5年度入場者数）

（単位：人）

区 分	ホ ー ル	展 示 室				会 議 室	合 計
		1 階	2 階	3 階	計		
利用日数 (和室公演) (会議室に分類)	203	260	234	17	511	—	—
公演回数/件数	151	44	39	5	88	652	891
入場者数	46,828	23,883	18,452	1,025	43,360	27,112	117,300

② 京都府立府民ホール

- ・令和6年度のホール利用状況は次のとおりであり、利用率は88.4%（5年度は77.9%）であった。
 - ・年間入場者数は、4月から8月までの5か月間ホール利用を休止していたため、25,983人とどまった。
- 利用状況の詳細は、以下のとおりである。

（令和6年4月～令和7年3月）

利用日数	137
公演回数/件数	103
入場者数	25,983

— 参 考 —

（令和5年度入場者数）

利用日数	173
公演回数/件数	129
入場者数	32,279

※令和5年度は4月から12月までの利用

(2) 利用料金収入状況

① 京都府立文化芸術会館

施 設 別	令和6年度	(参考) 令和5年度
ホール使用料	8,987,200 円	9,879,980 円
展示室使用料	7,180,700 円	7,118,200 円
会議室使用料	4,039,200 円	3,939,200 円
録音室使用料	303,800 円	331,700 円
付属設備使用料	10,722,120 円	11,013,510 円
駐車場使用料	15,625,150 円	14,469,300 円
計	46,858,170 円	46,751,890 円

② 京都府立府民ホール

施 設 別	令和6年度	(参考) 令和5年度
ホール使用料	10,247,450 円	12,469,950 円
付属設備使用料	6,065,190 円	6,349,780 円
計	16,312,640 円	18,819,730 円

2 事業実施状況

文化芸術会館

<公益目的事業>

(1) 自主(主催)事業

良質な舞台芸術の提供、新たな文化の創造、次世代のアーティストの発掘育成、府民との協働、「古典の日」の推進をコンセプトに、京都府からの委託事業に取り組むとともに、伝統芸能などの自主事業を企画・開催した。

① 京都府からの委託事業

<京都ゆかりの次世代アーティスト育成プログラム>

催 し 物 名				開催日	会場	入 場 者 数
古典芸能	狂言五笑会 4回	第51回	小舞：「暁の明星」「鵜飼」「海人」 狂言：「佐渡狐」「二千石」「伯母ヶ酒」 出演：島田洋海、増田浩紀、井口竜也、鈴木実、山下守之	令和6年 5月29日	和室	70
		第52回	小舞：「福部の神」「小原木」「放下僧」 狂言：「薩摩守」「栗焼」「吹取」 出演：島田洋海、増田浩紀、井口竜也、鈴木実、山下守之	9月6日		70
		第53回	小舞：「貝尽し」「吉の葉」「七つに成る子」 狂言：「福の神」「金藤左衛門」「呂蓮」 出演：島田洋海、増田浩紀、井口竜也、鈴木実、山下守之	11月7日		70
		特別公演	狂言：「節分」「止動方角」「千切木」 出演：五笑会メンバーほか茂山千五郎、網谷正美、茂山虎真、茂山 茂、茂山千之丞、松本 薫、茂山宗彦、茂山七五三、茂山あきら、丸石やすし	令和6年 2月1日	ホール	370
	上方落語勉強会 4回	第274回	「犬の目」笑福亭喬明／「月並丁稚」桂慶治朗 くまざわあかね新作 Vol. 51 お題の名づけ親はあなたです その135 桂りょうば／ 「錦の袈裟」桂 米二／「皿屋敷」笑福亭喬介	6月27日	和室	70
		第275回	「道具屋」笑福亭喬路／「七度狐」露の 瑞／ 小佐田定雄新作 Vol. 107 お題の名づけ親はあなたです その136 桂 鯛蔵／ 「持参金」桂 米二／「肝つぶし」桂ちようば	9月 3日		70
		第276回	「狸の賽」桂 米舞／「真田小僧」桂 春之輔 くまざわあかね新作 Vol. 52 お題の名づけ親はあなたですその137 露の紫／「阿弥陀池」桂 米二／「寝床」桂雀五郎	12月 4日		70
		第277回	「花色木綿」笑福亭喬龍／「試し酒」林家染八 ／小佐田定雄新作 Vol. 108 お題の名づけ親はあなたです その138 林家菊丸／「雁風呂」桂米二／「へっつい幽霊」桂 そうば	3月12日		70

<「古典の日」推進プログラム>

催 し 物 名		開催日	会場	入場者数
古典 芸能	「新春 米朝一門花形落語会 桂天吾、桂米輝、桂吉の丞、桂吉弥、桂米紫、桂南天	令和7年 1月5日	ホール	370

<府民との協働・参画プログラム>

催 し 物 名		開催日	会場	入場者数
演劇	第46回Kyoto演劇フェスティバル 洋室プログラム ・西村孝子（朗読）＆山崎祥代（ピアノ）「ピーターと狼」 ・パピプペパペット（ばふく亭笑香「たぬきの札」「まんじゅうこわい」 和室プログラム ・京都放送劇団「嗚呼、清少納言さま」 ・朗読サークル「モンブラン」「雪と狐のアンソロジー」 ～「雪渡り/手ぶくろを買いに」他～ ・ごちゃまぜMINIシアターズ「ごちゃまぜMINIシアター」 ホールプログラム ・みかんの木文庫&刻の音 with 酒田しんご 「三つの願い～おじいさんとおばあさんとへびの場合～」 「和太鼓と篠笛&ジャグリング」 ・演劇塾 長田学舎（おさだ塾）「六九四〇」 ・児童劇団やまびこ座「お母さんの花」「ケヤキ公演」 ・劇団そら「飛んで沖縄」 ・宇治っ子朗読劇団☆Genji 源氏物語「よもぎ茂れるやしきから」 ・創造集団アノニム「原民喜の『ガリヴァ旅行記』大冒険」 ・ひとり人形劇まる「金のたい」 よっちゃんの紙芝居「夏艸丹ノ国断～鬼切丸と和知太鼓」 ・劇団35「ひびけ！まつり太鼓」 ・TMパフォーマンス・プロ「顔」	令和6年 2月22日 ～24日	洋 室 和 室 ホール	2,880

② 自主事業

<優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供>

催 し 物 名		開催日	会場	入場者数
演劇	北部演劇活性化プログラム 第27回 きょうと北部演劇まつり 狂言「附子」茂山宗彦・島田洋海、山下守之 みかんの木文庫（人形劇）「ぼくはキリン ぼくはペンギン」 刻の音（篠笛と太鼓）＆酒田しんご（ジャグリング） 福知山混声合唱団、子ども太鼓疾風、淑徳おはなしシアター ※主宰 きょうと北部演劇まつり実行委員会 共催 京都府立文化芸術会館	9月1日	福知山 市	350

演劇	イッセー尾形の右往沙翁劇場 in 京都 ①中学教師 ②病院の談話室で ③刈りあげOL ④長年のカン をデータ化 ⑤神主による邪気払い ⑥負け犬マカロン ⑦雪子の冒険 小樽編	10月25日 ～27日	ホール	1,260
	若州人形座 -水上 勉 没後20周年特別企画- ブンナよ、木からおりてこい 4人の語り部たちによる朗読劇	令和7年 3月29日	ホール	260
古典 芸能	文楽鑑賞教室 解説「太夫と三味線の解説」 実演「雅楽之介の注進」 解説「人形の解説と体験」 実演「伊達娘恋緋鹿子」火の見櫓	令和7年 3月14日	ホール	260
	文楽京都公演 「二人三番叟」 「絵本太功記」夕顔棚の段 尼ヶ崎の段 「近頃河原の達引」 四条河原の段 堀川猿回しの段	3月15日 16日		890
	京都三曲協会 邦楽（箏・三絃・尺八）を楽しむ会	6・9・12・3 月	和 室	280 (4回)

演劇

文化芸術会館 受託・自主事業合計数

	公演数	入場者数
受託・自主事業 合計	37	7,410
前年同期計	39	7,989
増減差	▲2	▲579

(2) 会館の運営事業

会館の備えるホール、和室、展示室及び会議室の各施設・設備を、自主（主催）事業と同様に、若手アーティスト等の育成、府民等との協働、質の高い文化芸術に触れる機会の提供及び次世代育成に資する事業、府民参加型による文化芸術の振興に資する事業、京都発の新しい舞台芸術の創造に資する事業等の実施と交流のために使用する利用者に貸与した。

(3) 友の会事業

友の会会員に対し、昨年と同様に、自主事業の定期的な公演情報の提供、公演チケットの先行発売、割引販売等の特典サービスを提供した。新型コロナウイルス感染症対策の解除により、会員数は昨年より少し増加した。

会員数	令和6年度末	302人
	(令和5年度末)	286人

<収益事業>

(1) 公益目的外貸与事業

① ホール、和室及び展示室の使用のうち、府民等との協働、質の高い文化芸術に触れる機会の提供等の公益目的以外の興行性の高い利用者の使用に貸与した。

② 会議室使用のうち、民間事業者等の学術的利用のための使用に貸与した。

参考 公益目的外貸与事業による入場者数等

	貸与日数	公演等数	入場者数
ホール	2 2	2 0	8, 5 4 0
会議室	6 3	6 7	1, 9 0 0

(2) 駐車場事業

来館者等の利便のため附属駐車場を運営した。

2 事業実施状況

府民ホール

<公益目的事業>

(1) 自主（主催）事業

京都府からの委託事業及び自主事業を、高い芸術性と趣向を凝らしたおもてなしを提供する「ALTI 未来時間」のコンセプトのもと、新しい舞台芸術の発信・創造、若手アーティスト等の育成、質の高い文化芸術に触れる機会の提供及び次世代育成に資する音楽、舞踊等の公演として企画・実施した。

令和6年1月から8月まで耐震工事等のため休館したが、その間、棟続きの京都府公館レセプションホールや府民ロビーにおいて「サロンコンサート」を開催し、新たな趣向で音楽鑑賞の機会を提供した。

①京都府受託事業

<京都ゆかりのアーティスト育成プログラム>

(次世代の育成)

	催 し 物 名	開催日	会場	入場者数
音 楽	ALTI春のお茶会	令和6年 4月14日	公館レセプションホール	55
	皐月翠奏	令和6年 5月12日	同 上	80
	テレマン 無伴奏ヴァイオリンのための12の幻想曲	令和6年 6月9日・23日	同 上	143
	京都アルティ弦楽四重奏団	令和6年 11月2日	ホール	273
	ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会	令和7年 3月2日	ホール	289

<新しい舞台芸術の創造・発信プログラム>

	催 し 物 名	開催日	会場	入場者数
音 楽	涼風の調べ クラリネットとハープの饗宴	令和6年 8月11日	公館レセプションホール	75
音 楽	アルティ・リニューアルオープン記念公演	令和7年 1月24日	ホール	346
音 楽	チェロアンサンブルの愉しみ	令和7年 3月15日	ホール	362

	催 し 物 名	開催日	会場	入場者数
舞 踊	アルティ・アーティスト・プロジェクト（A A P）～季節のうつろいの中で～	令和 6 年 10月 4 日・ 5 日	ホール	311

②自 主 事 業

<次世代の育成プログラム>

	催 し 物 名	開催日	会場	入場者数
音 楽	楽しいリコーダーの世界	令和 6 年 6 月 30 日	府民 ロビー	155
	ALTI子育て応援コンサート第2回 アルティ クリスマスコンサート (地域連携文化事業準備資金事業)	令和 6 年 12月 21 日	ホール	371

<新しい舞台芸術の創造・発信プログラム>

	催 し 物 名	開催日	会場	入場者数
音 楽	ガーシュイン100年目の～ラブソディー・イン・ ブルー～ サラ・ビュクナー	令和 6 年 12月 14 日	ホール	191

<京都から国際的な舞台芸術の発信>

	催 し 物 名	開催日	会場	入場者数
音 楽	クリスマスJAZZコンサートVol.2	令和 6 年 12月 24 日	ホール	257

	入場者数
受託・自主事業 合計	2, 9 0 8
前 年	2, 5 7 2
増 減	+ 3 3 6

(2) ホールの運営事業

ホールの施設・設備を、自主（主催）事業と同様に、若手アーティスト等の育成、府民等との協働、質の高い文化芸術に触れる機会の提供及び次世代育成に資する事業、府民参加型による文化芸術の振興に資する事業、京都発の新しい舞台芸術の創造に資する事業等のために使用する利用者に貸与した。

(3) 友の会事業

友の会（アルティ・メイト）会員に対し、定期的な公演情報の提供、公演チケットの先行発売、割引販売等の特典サービスを提供しホール利用を促進した。令和 6 年 1 月からの休館のため会員数が減少したが、会員の有効期限を休館期間分延長す

るなど特典の充実と窓口での入会案内の強化により会員の拡大に努めた。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
会員数	401	419	448	368	425

<収益事業>

(1) 京都府公館の管理事業

府民ホールとの合築になっている京都府公館を、府との委託契約に基づき管理した。

(2) 公益目的外貸与事業

ホールの使用のうち未利用日等について、優れた文化芸術活動の場の提供等の公益目的事業以外の興行性の高い利用者や京都府主催行事の使用に貸与した。

参考 公益目的外貸与事業による入場者数等

貸与日数	公演数	入場者数
10	7	2,140

3 美術工芸振興基金事業

(1) 京都府出えん金

昭和63年度	79, 000, 000 円
--------	----------------

(2) 基金運用事業

基金の果実を財源として、美術・工芸界でユニークな創造活動を行う作家を対象とした『企画展』を開催してきたが、利息の減収等により事業資金が不十分な現状となっている。そういった中で、令和6年度においては、令和7年度以降に向け果実を積み上げた。

Ⅳ 京都府立堂本印象美術館

1 管理運營業務

総入館者数は野外展、庭園利用を含めて 27,032 人となった。工事休館により開館日数が前年比で 26 日減少(本年度 224 日、前年度 250 日)したが、1 日あたりの入館者数は前年比を上回っている。

展覧会事業では、特別企画展として京都では初の回顧展となる「福田豊四郎展」、現役作家の作品発表の機会創出の現代作家展「渡辺信喜 四季の譜」を開催したほか、京都工芸美術作家、京都彫刻家協会、京都いけばな協会など、地域の芸術家団体と連携して展覧会を実施した。

また美術館本館および山のアトリエの登録有形文化財への登録に取り組み、令和 7 年度に登録が決定した。

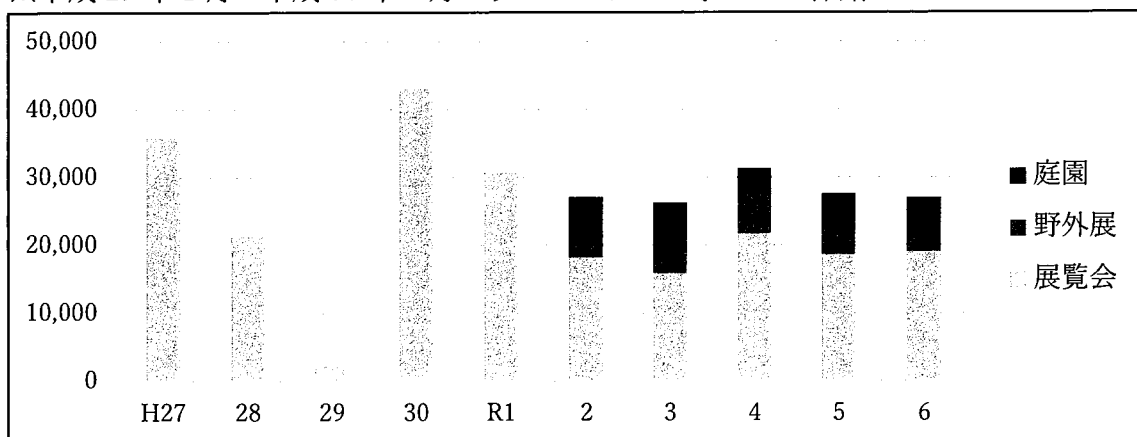
令和 6 年度入館者数 (人)

	展覧会入場者	野外展入場者	庭園利用者	総入館者数
入館者数	19,059	2,964	5,009	27,032

過去 10 年間の入館者数実績 (人)

	展覧会入場者	野外展入場者	庭園利用者	総入館者数
平成 27 年度	35,927	-	-	35,927
平成 28 年度	21,341	-	-	21,341
平成 29 年度	2,228	-	-	2,228
平成 30 年度	43,082	-	-	43,082
令和元年度	30,697	-	-	30,697
令和 2 年度	18,216	1,753	7,126	27,095
令和 3 年度	15,857	3,090	7,347	26,294
令和 4 年度	21,691	5,765	3,854	31,310
令和 5 年度	18,618	3,674	5,278	27,570
令和 6 年度	19,059	2,964	5,009	27,032

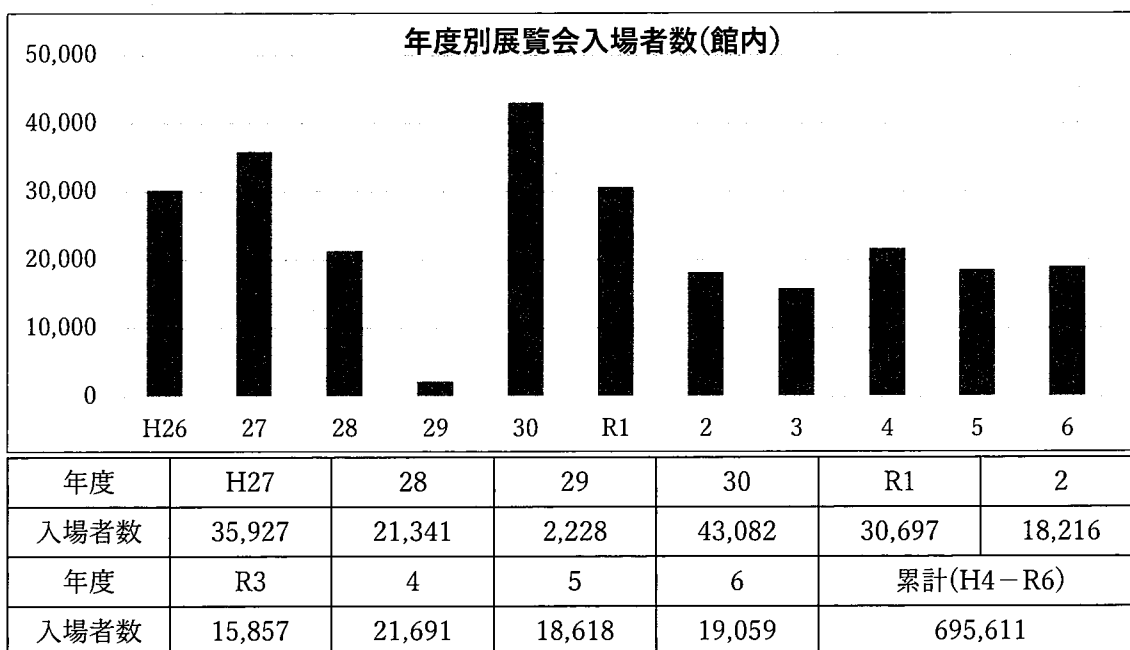
※平成 29 年 1 月～平成 30 年 3 月：リニューアル工事のため休館



2 事業実施状況

(1) 展覧会事業

展覧会名	主催者・出展者	開催期間	入場者数	一日平均
特別企画展 渡辺信喜 四季の譜 京都府立堂本印象美術館 現代作家展	京都府 堂本印象美術館 京都新聞	3月20日～ 5月17日 令和6年度: 40日間	4,748人	119人
企画展・野外展 第7回野外彫刻展	京都府 京都彫刻家協会 堂本印象美術館		(2,225人)	56人
企画展 五彩を感じて 印象の墨の世界	京都府 堂本印象美術館 京都新聞	6月5日～ 9月8日 83日間	4,708人	57人
企画展 第5回京都工芸美術作家展	京都府 堂本印象美術館 京都工芸美術作家協会			
特別企画展 生誕120年記念モダニスト 福田豊四郎、秋田を描く 土田麦僊に愛された日本画家	京都府 堂本印象美術館	10月9日～ 11月24日 41日間	5,013人	122人
企画展・野外展 第6回野外いけばな展	京都府 京都新世代いけばな展 運営・実行委員会 堂本印象美術館	2月9日～ 2月12日 4日間	(739人)	185人
企画展 歴史画パラダイス	京都府 堂本印象美術館 京都新聞	1月21日～ 3月30日 60日間	4,590人	77人
実開館日数 224日		合計 ※()は野外展含む	19,059人 (22,023人)	85人 (98人)



(2) 学習普及事業

事業名	実施日 実施期間	概要	延べ 参加者数
ギャラリートーク	4月27日,6月23日 7月13日,7月21日 8月3日,10月19日 11月9日,2月22日 3月1日	当館学芸員や出品作家、展覧会協力者による作品解説を実施。	318人
立命館大学連携授業 現代社会とボランティア	5月18日～ 8月2日 (10回)	美術館の監視案内、備品整備などのボランティア活動を企画し、学生を受け入れ。	72人
京都産業大学授業協力 公共政策論	7月2日	京都府と共同で美術館の運営等について講義を実施。	25人
夏休みワークショップ 堂本印象美術館をモチーフ にガラス作品を作ろう！	7月28日	子ども向けに現役の工芸作家によるワークショップを開催。	14人
京都市立蜂ヶ岡中学校授業協力 職場チャレンジ体験	9月5日～ 9月8日	体験学習に協力し美術館業務を学ぶ機会を提供。	16人
立命館大学授業協力 シチズンシップ・スタディーズ	10月1日～ 1月11日 (10回)	職員と学生が共同で美術館の広報企画の立案から実施までを実施し3キャンパス合同の活動報告会で発表。	87人
京都新聞ニュースカフェ トークセッション 雪、氷、田園のロマン 福田豊四郎の世界	10月16日	福田豊四郎の京都時代を中心に京都新聞記者と学芸員によるトークセッションを開催。	26人
記念座談会 福田豊四郎の芸術と人間的 魅力を語る	10月27日	土屋禮一氏(日本画家)、菊屋吉生氏(山口大学名誉教授)、野地耕一郎氏(泉屋博古館東京館長)を招聘した座談会を開催。	82人
立命館中学校授業協力 職場チャレンジ体験	11月6日～ 11月8日	体験学習に協力し美術館業務を学ぶ機会を提供。	12人
京都市立高野中学校授業協力 職場チャレンジ体験	1月29日～ 1月31日	体験学習に協力し美術館業務を学ぶ機会を提供。	6人
親子イベント 絵本作家から学ぶ日本画の魅力	2月2日	谷口智則氏(絵本作家)による解説、絵本読み聞かせを通して日本画の魅力の紹介。	38人
京都新聞ニュースカフェ講演会 堂本印象の転換点!? —歴史画での模索—	2月11日	大原嘉豊氏(京都国立博物館教育室長)を招いた講演会を開催。	58人
合計			754人

(3) 地域連携・文化観光推進事業

事業名	実施日・実施期間	概要	延べ 参加者数
文化庁京都移転記念事業 京都モダン建築祭	11月1日～ 11月10日	京都市内に点在する歴史的建築物の一斉公開に参加し、建築の面から芸術体験の機会を提供。	153人
関西広域連合連携企画 関西文化の日	11月15日	関西の美術館、博物館と連携し入館料無料等のプロモーションを行い、各施設館の広報、来館促進に協力。	551人
京都市内博物館施設 連絡協議会連携企画 第28回京都ミュージアムロード	1月24日～ 3月16日	京都市および京都市内の美術館、博物館と連携してスタンプラリー、グッズの頒布を行い、各施設館の広報、来館促進に協力。	3,219人
京都歴史回廊協議会連携企画 仁和寺御影堂等近世植物性屋根材の世界	2月15日	地元団体と協同で仁和寺の探訪と文化財保護の有識者による解説会を開催。	25人
合計			3,948人

・きぬかけの路推進協議会、京都歴史回廊協議会との連携

衣笠地域の著名な寺院のひとつである仁和寺の建物探訪などを共同で開催し、地域の文化観光の振興に協力した。

・今出川通・日本画茶の湯美術館連絡会との連携

『京都・今出川通の美術館だより』（季刊誌）を年4回共同発行した。

構成館 堂本印象美術館、橋本関雪記念館、北村美術館、樂美術館、茶道資料館

(4) 友の会事業

平成25年3月に募集を開始し、現在の会員数は個人25、団体1。会員から会費にて美術館の活動を支援頂きながら、展覧会の無料入館サービス、社寺見学会の開催などを実施した。

(5) 美術館ボランティア事業

平成25年4月に結成した堂本印象美術館ボランティアのメンバーをリニューアルオープンに合わせて新たに募集し、来館者への説明や各自主事業などへのスタッフとしての参加等、美術館運営に得難い力となっている。現在、31名在籍。

(6) 調査・研究事業

堂本印象の作品及び関連資料の調査、研究に基づき企画展として展覧会を企画・実施。さらに京都ゆかりの日本画家を顕彰する特別企画展を企画・実施し、また図録等を作成して、その成果を広く公開した。